

## 令和2年度第2回 関西広域産業ビジョン推進会議 議事要旨

【日時】 令和3年3月17日（月） 10時から12時

【場所】 大阪工業大学 梅田キャンパス「OIT 梅田タワー」3階 会議室 301・302

【出席者】 別添名簿のとおり

### 【議事】

1. 令和2年度広域産業振興局事業の報告及び期末評価について（資料1-1、1-2）
2. 令和3年度広域産業振興局事業の計画及び目標設定について（資料2-1、2-2）
3. 関西版フラウンホーファーについて（資料3-1、3-2）

### 【委員からの主な意見】

#### （議事1）

- ・ メディカル事業については7年間の総括が必要。今後の事業展開に反映できるように。
- ・ ウィズコロナ社会を踏まえ、オンライン活用の推進と効果検証を。
- ・ コロナ禍における現在の事業計画や事業方針の過不足について検証、報告を。

#### （議事2）

##### ◇スタートアップ・エコシステム事業について

- ・ 海外の商工会議所、民間の既存の取組みなどとの連携を検討されたい。
- ・ エンジンとなる京阪神を動かし、域内他地域へメリットを展開できる仕掛け、仕組みが重要。

##### ◇企業のICT化等の取組み推進に向けた情報発信機能の強化について

- ・ 企業のデータ利活用推進に広域で取り組む方向性は賛同。関西の強みとなるように。

#### （議事3）

- ・ ドイツのフラウンホーファーは国家戦略であり非常に大きい組織。どの機能を「関西版」として立ち上げるのか、予算を伴うこともあるため十分な検討が必要。
- ・ 新しい組織設立ありきではなく、今ある資源を効率よく使っていきやり方を模索すべき